

バイデン外交と大統領選挙の行方

笹川平和財団 安全保障研究グループ 上席フェロー
渡部恒雄

- *ダブルヘイターの状況
- *四つに割れているアメリカ
- *左に落として右に寄せる
- *フリーダム・コーカスが法案妨害
- *トランプを評価する福音派
- *ジョンソン議長の巧みな誘導
- *共和党下院議員はトランプに弱い
- *中絶問題がバイデンの鍵握る
- *両陣営ともケネディを警戒
- *両陣営の不满分子の行方
- *トランプでも日本は心配ない



山縣 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、笹川平和財団の安全保障研究グループの上席フェローをなさっています渡部恒雄先生にお越しいただきました。先生は有名なCSIS、ワシントンDCにあります戦略国際問題研究所で上級研究員をなさった後、三井物産の戦略研究所、東京財団を経て現在のお仕事をなさっております。防衛省でも防衛施設中央審議会の委員をなさっております。

アメリカの大統領選挙に関しましては、日本ではトランプ側もバイデン側も最近では訴訟案件のニュースが随分取り上げられています。無党派層の人数の比率が拡大してきており、もう一つ、第3の候補でケネディさんという人もおられます。いろんな要因があります。大統領

選挙の先行きをきれいに見抜くことはなかなか難しいと思いますが、今日は先生に現時点での分析、展望を伺ってみたいと思います。

それでは先生、よろしく願います。（拍手）

ダブルヘイターの状況

渡部 お暑うございます。でも、皆さんは涼しい格好をされている方が多いので、見た目が白くてうれしいです。私は朝、盛岡から戻って来たばかりで、「盛岡は涼しかったです」といいたいところですが、昨日は何と、東京のほうが涼しくて盛岡はすごく暑かったです。温暖化が進んでいますよね。今日の話は大統領選挙ですが、事前にお話があったように、今日バイデン